

小笠原・郡司、初コンビ白星

5年前 甲子園決勝、あの敵と…

中日の郡司



先発した中日の小笠原=いずれも日刊スポーツ



捕手のサインに、ほとんど首を振ることはなかった。6回3失点。今季初勝利を挙げた中日の小笠原は「守ってくれたみなさんのおかげです」と感謝した。とくに、公式戦で初めてバッテリーを組んだ新人捕手の郡司への思いは特別だった。

2人は、5年前は敵だった。2015年夏の甲子園。東海大相模のエースとして優勝した左腕が決勝で戦った仙台育英の4番捕手こそが、郡司だった。きっちり適時打も放っている。

高卒でプロの世界に飛び込んだ小笠原に対し、郡司は慶大を経て今季入団。この日が4試合目の先発マスクだったが、不安定だった小笠原をもり立てた。球が走っていないとみるや、緩い変化球を多投させ、直球は見せ球に。三回には二盗を刺し、ベンチに戻るたびに左腕のもとに歩み寄って声をかけた。

3月のオープン戦で、プロ入り後初めて小笠原の球を受けた時は「感慨深いというか、いろんな思いがあった」という。でも、もう感傷に浸る立場ではない。勝負に徹し、マスク越しから鋭い視線を送った。

2年前に開幕投手を務めた小笠原はいま、伸び悩む。左ひじ手術明けの昨季は3勝に終わり、今季も2軍暮らしが長かった。郡司は言った。「(小笠原) 慎之介の初勝利のために頑張りました」。昨年9月以来の白星。三塁ベンチ前で、左拳と右拳をそっと重ね、2人は笑った。(山口裕起)

7回2失点で2勝目を挙げた中日・福谷

=神宮、日刊スポーツ

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
中日	2	2	2	0	0	1	2	2	0	11
ヤクルト	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2



【試合終了】◇試合時間2時間55分◇神宮
 【中日】○福谷（2勝1敗）岡田 木下雄一郡司

投手成績	勝利	敗戦	S	試合	回数	打者	球数	安打	三振	四球	死球	失点	自責	通算 防御
○福谷	(右)	2	1	0	4	7	26	99	6	6	0	0	2	2.28

日刊スポーツ 中日福谷一郡司、2020年8月12日

慶大先発バッテリー64年ぶり勝利

広島対中日 ファンに手を振る福谷(撮影・加藤孝規)



広島対中日 8
 回表中日1死
 二、三塁、郡司
 は2点適時打を
 放つ(撮影・加藤
 孝規)

<広島 1-8 中日> 11日◇マツダスタジアム

▼中日は慶大出身の福谷浩司投手と郡司裕也捕手が先発バッテリーを組んだ。同じ大学出身のバッテリーは今季、巨人菅野-大城（東海大）、DeNA 今永-戸柱（駒大）が複数回組み、中日でも昨季、梅津-大野奨（東洋大）の例があるが、慶大出身バッテリーは96年6月1日近鉄戦の西武鈴木哲-高木大以来24年ぶり。

先発でのコンビとなると72年8月5日の大洋佐藤元彦-大橋勲以来、48年ぶり。さらに慶大先発バッテリーで勝利したのは、54年8月17日の中日大島信雄-加藤進コンビ以来64年ぶりだ。

(C) 2020, Nikkan Sports News. nikkansports.com に掲載の記事・写真・カット等の転載を禁じます。すべての著作権は日刊スポーツ新聞社に帰属します。

福谷 浩司 @FKJ17 ツイッター

先発初勝利頂きました リードしてくれた郡司！ 常に声かけてくれるタンケ、阿部さん、周平、京田！ ベンチから励ましてくださった直さん みなさん感謝です ただバックを信じてゾーンに投げるしかできないピッチャーですが、次も頑張ります でもやっぱり今日は ソブさん Happy Birthday！



2020年8月11日

中日・福谷、1173日ぶり白星&先発初勝利

「きょうは祖父江さんの誕生日だったんで...勝って良かった」

セ・リーグ 中日 8-1 広島 (2020年8月11日 マツダ)

中日の福谷浩司投手(29)が広島戦(マツダ)で6回途中5安打1失点と好投。2017年5月26日のヤクルト戦以来1173日ぶりとなるプロ通算8勝目、先発では初となる白星をマークした。試合後のヒーローインタビューで、3年3カ月ぶりとなる勝利投手の味を聞かれると「ああ、もう...いつか忘れてました」と照れた福谷。すぐさま「きょうは祖父江さんの誕生日だったんで、本当にチームが勝って良かったです」とこの日33歳を迎え、3番手としてバースデー登板を無失点で切り抜けた祖父江の記念日を祝った。そして、プロ8年目での先発初勝利については「先発



の勝ち負けはそんなに気にしてなくて、自分の仕事をどこまでできるかだと思っていたので、きょうもそれなりには出来て良かったです」とサラリ。味方打線は4回に高橋の2ランなどで3点を先取したが「点が入っても気持ち変えずにいました」とし、最少失点で降板後も「投げてる時から(捕手の)郡司はじめバックの皆さんに助けていただいてばかりだったんで、その気持ちでずっと見てました」と言葉に感謝を込めた。そして、プロ入り最少の1試合登板に終わった昨季にも触れ「去年はちょっとケガであんまり1軍にいられなかったですし、今、1軍で投げられる幸せっていうのを感じてるんで、次に向けてしっかり準備したいと思います」としみじみ語った。

<広・中>今季初勝利に喜ぶ福谷 Photo by スポニチ